

## II 施策の実施状況

### 【基本目標】

基本目標 4 つ（うち重点項目 3 つ）を実現するために施策を実施し、結果は表のとおりとなりました。

基本目標	環境指標				評価 (環境指標平均)
	項目数	進捗率		進捗率 前年度比	
		H26	H27		
◎ 人と自然がふれあえるまち	3	89.3	113.6	24.3	★★
・ エネルギー・資源を大切に するまち	4	88.0	59.4	▲28.6	★★
◎ 安心して快適に暮らせるまち	16	128.4	118.8	▲9.6	★★
◎ みんなが参加し、行動するまち	3	176.8	123.9	▲52.9	★★★★

※ ◎は重点的な取組です。

- ・ 基本目標の進捗率は平成 29 年度目標値を 100 としたときの現年の割合（項目平均）
- ・ 評価は進捗率が目標値に近づいている場合
  - 50%未満 ★
  - 100%未満 ★★
  - 100%以上 ★★★★★ と記載して前年度と比較し評価する。
- ・ 基本目標の評価は基準年と比較評価した環境指標の★の平均とする。
- ・ 小数点 2 位以下四捨五入

## 進捗状況（環境指標一覧）

基本目標ごとに達成の程度を把握するため、環境指標と項目ごとの目標値を設定しています。目標値の進捗状況を把握し、取り組みの状況を確認し改善を図ります。

### 【基本目標】 『人と自然がふれあえるまち』

#### 【環境指標】

項目	単位	基準値	現状値				目標値		進捗率	評価	所管課
		H24	H25	H26	H27	平成 29 (2017) 年度	平成 34 (2022) 年度				
河川環境基準 (BOD)達成率	%	92	92	93	93	100	100	93.0	★★	環境課	
河川清掃作業 参加人数	人	15,000	15,260	15,875	15,795	16,000	16,500	98.7	★★	道路河川維持課	
学校給食にお ける本市農産 物の利用割合 (品目)	%	10.4	9.2	9.1	17.9	12	15	149.2	★★★★	保健給食課	

※ BOD：水の汚れを表す一般的な水質指標の一つで、その河川の利用形態等を考慮した河川類型ごとに基準値が定められています。なお、河川類型とは水質汚濁に係る河川ごとの水質基準です。

※ 学校給食の品目割合：栃木県教育委員会が指定する品目のうち市農産物を使用した割合です。

### 【基本目標】 『エネルギー・資源を大切にすまち』

項目	単位	基準値	現状値				目標値		進捗率	評価	所管課
		H24	H25	H26	H27	平成 29 (2017) 年度	平成 34 (2022) 年度				
太陽光発電シ ステム設備容 量	kw	1,829(年間 累計)	2,623 (4,452)	2,346 (6,798)	1,852 (8,650)	3,000	4,250	61.7	★★	環境課	
太陽光発電設 備を導入した 市有施設数	施設	8	21	36	※② 35	30	40	116.6	★★ ★		
市有施設の電 力、ガス等エ ネルギー使用 量	※ GJ	313,407	393,581	※① 454,532	493,992	297,737	297,737	▲ 39.7	★		
リサイクルさ れた資源物量	t	7,100	6,900	6,627	7,421	7,500	7,800	98.9	★★		

※ GJ：ギガジュール・電気や灯油を使用した際のエネルギー使用量の単位

※① 岩舟町合併のため施設数や職員数の増加によりエネルギー使用量が増加。

※② 屋根の構造上の理由より、設置できなかった施設が1施設あったため、減となった。

【基本目標】 『安心して快適に暮らせるまち』

項目	単位	基準値		現状値				目標値		進捗率	評価	所管課
		H24	H25	H26	H27	平成 29 (2017) 年度	平成 34 (2022) 年度					
野焼き等大気汚染関連苦情件数	件	37	85	55	55	19	0	△65.5	★	環境課		
騒音・振動関連苦情件数	件	15	21	9	6	8	0	133.3	★★★★			
公共用水域の環境基準達成率	%	66	64	65	64	100	100	64.0	★★			
下水道等生活排水処理普及率	%	71.1	72.4	73.1	74.3	76	83.5	97.8	★★	下水道業務課		
文化財指定数	件	272	284	297	300	277	282	108.3	★★★★	文化課		
市民・事業者の美化活動参加数	人	28,000	43,000	37,250	51,930	44,800	67,200	115.9	★★★★	環境課		
市民一人当たり都市公園面積	m <sup>2</sup>	11.9	11.5	11.6	11.6	12.6	14.0	92.1	★★	公園緑地課		
文化財、史跡関連施設への入場者数	人	11,000	12,011	※① 27,599	※① 22,395	12,000	13,000	186.6	★★★★	文化課		
一般廃棄物最終処分量	t	3,235	4,076	3,496	3,580	2,997	2,756	▲16.3	★	環境課		
市民一人当たりごみ収集量(1日)	g	655	654	630	594	530	520	89.2	★★			
市民による集団回収量・件数	件	212	248	514	359	230	250	156.1	★★★★	環境課		
	びり kg	29,635	40,934	28,811	23,726	31,690	34,446	74.9	★★			
	か kg	26,461	30,738	47,632	47,226	20,335	22,103	232.2	★★★★			
	紙 kg	1,145,522	1,287,493	1,614,260	1,549,755	1,267,620	1,377,848	122.3	★★★★			
その他 kg	795	4,543	2,670	3,295	792	861	416.0	★★★★				
ごみの不法投棄量	t	50	50	52	48	45	41	93.8	★★			

※① H26よりP27 5施設の入場者数合計 (H25までは下野国庁跡と栃木市郷土参考館のみ)

【基本目標】 『みんなが参加し行動するまち』

項目	単位	基準値	現状値				目標値		進捗率	評価	所管課
		H24	H25	H26	H27	平成 29 (2017) 年度	平成 34 (2022) 年度				
環境問題啓発 イベント数	件	3	6	16	9	5	7	180.0	★★★★	環境課	
環境学習講座 参加者数	人	439	341	808	671	500	600	134.2	★★★★		
市有施設温室 効果ガス※排出量	t-CO <sub>2</sub>	12,950	18,861	※① 24,898	21,166	12,173	11,526	▲42.5	★		

※① 岩舟町合併のため施設数や職員数の増加により温室効果ガスが増加。

今後の方向性

基本目標ごとに今後の方向性を考えます。

基本目標	評価	今後の方向性
◎ 人と自然がふれあえるまち	★★	人と自然がふれあえる機会の創出に努め広報・周知をいたします。
・ エネルギー・資源を大切に するまち	★★	今後も省エネルギーを推進し資源を大切にします。
◎ 安心して快適に暮らせるまち	★★	制度の更なる充実を図ります。
◎ みんなが参加し、行動するまち	★★★★	啓発活動を継続します。

※ ◎は重点的な取組です

## 【基本的施策・個別施策】

基本目標には16の基本的施策とその施策を実施するための29の個別施策があります。その中で実施した主な事業を報告します。

### 【基本目標】 『人と自然がふれあえるまち』

#### 【環境指標】

項目	単位	基準値	現状値				目標値		進捗率	評価	所管課
		H24	H25	H26	H27	平成29 (2017) 年度	平成34 (2022) 年度				
河川環境基準(BOD)達成率	%	92	92	93	93	100	100	93.0	★★	環境課	
河川清掃作業参加人数	人	15,000	15,260	15,875	15,795	16,000	16,500	98.7	★★	道路河川維持課	
学校給食における本市農産物の利用割合(品目)	%	10.4	9.2	9.1	17.9	12	15	149.2	★★★	保健給食課	

BOD: 水の汚れを表す一般的な水質指標の一つで、その河川の利用形態等を考慮した河川類型ごとに基準値が定められています。

学校給食の品目割合: 市農産物を使用した割合です。

## 基本的施策 ～ 緑とふれあおう ～

### 個別施策 森林や里地里山の保全と再生

豊かな森林や里地里山はわたしたちの生活に欠かせないものであり、豊かな自然や親しみのある風景、また多様な生態系を形成するなど多くの役割を来たしております。森林や里地里山の保全と再生に関する取組みを推進しました。

#### 【主な施策の実施状況】

##### 〇とちぎの元気な森づくり推進事業

- ・ 地域で育み未来につなぐための里山林整備事業  
都賀町家中地区(光明寺城跡地) 0.6ha
- ・ 将来まで守り育てるとちぎの里山林管理事業  
栃木平井町地内 2.0ha
- ・ 通学路や住宅周辺の安心・安全を確保するための里山管理事業  
藤岡町大田和・都賀地内 2.0ha
- ・ 野生獣被害軽減のための里山林管理整備事業  
栃木小野口町地内(打越) 4.0ha  
栃木小野口町地内(堤崎) 3.0ha

大平町西山田地区	2. 0 ha
大平町下皆川地区	2. 0 ha
都賀町富張地区	8. 1 ha
西方町地区全域	29. 5 ha
岩舟町小野寺地区(小名路)	2. 0 ha

○有害鳥獣による農作物被害や生活環境被害等を防止するため、有害鳥獣捕獲を実施しました。

イノシシ	1,077 頭
ニホンジカ	191 頭
ニホンザル	1 頭
ハクビシン	65 頭
カラス等鳥類	354 羽

○有害鳥獣対策研修会を開催しました。

実施日	12月9日(水)・2月8日(月)
実施場所	かかしの里センターハウス
参加者	1回目 40人 2回目 17名

### 個別施策 緑とふれあう機会の創出

緑は、美しい景観形成にかかせないものであり、私たちの生活に安らぎを与えます。緑とふれあい、緑の大切さを知ることは、自然環境の保全、生態系の保全意識を高めます。緑とふれあう機会の創出に関する取り組みを進めました。

#### 【主な施策の実施状況】

##### ○グリーンツーリズム事業

地域資源を生かした幅広い交流を通して、農林業や農山村に対する都市住民の多様なニーズに積極的に応え、農山村地域の活性化を図る取り組みを支援しました。

地区	実施日	名称	参加者(人)
皆川地区	5月31日(日)、9月27日(日)	ふれあい農業体験	延べ102
寺尾地区	5月31日(日)、9月27日(日)	寺尾米づくり体験教室2014	延べ70
大柿地区	6月27日(土)、9月26日(土) 10月11日(日)	農業体験	延べ44

##### ○ 緑とふれあう場の提供

行政と市民が一体となって、森林を保全し、自然とのふれあいの場を提供しました。

☆林業体験教室 平成27年7月24日(金)

寺尾小の6年生 27名

間伐体験、木工教室

☆にしかたリフォームおまかせ隊  
平成27年 11月29日(日)  
西方地内 180人  
木工教室



☆木とのふれあい体験  
平成27年10月25日(日)  
岩舟地内 92人  
木工教室



## ○ キャンプ場、遊歩道、木製遊具などを通じた緑とのふれあい 出流ふれあいの森の利用促進

・みかも森林組合と共同でイベントを開催するなど、森林レクリエーションゾーンとしての利用促進を図りました。

イベント名：森の市

11月14日(土)実施

参加者：700名(出流新そば祭りと共催)



## 基本的施策 ～水とふれあおう～

### 個別施策 河川や小川など水辺の保全と再生

水は、生物が生きていくために必要不可欠なものです。市内北東に思川、西に永野川、中央に巴波川、南には渡良瀬川が流れ、ラムサール条約湿地に登録された渡良瀬遊水地があります。良好な水辺を守るため河川や小川など水辺の保全と再生に取り組みました。

#### 【主な施策の実施状況】

#### ○巴波川一斉清掃の実施

・巴波川の環境美化を推進するため、「栃木市河川愛護会」「栃木市自治会連合会」「栃木市地域クリーン推進員連合会」の合同事業として、沿岸自治会及び関係団体の協力を得て、巴波川の一斉清掃を実施しました。

実施日 平成27年 4月25日(土)

7月 4日(土)

※10月 3日は関東・東北豪雨のため中止

参加者 約2,400名



巴波川一斉清掃

#### ○清掃活動等の支援

・自治会等による河川や水路の清掃活動などによる河川愛護活動を支援するため、清掃用具等の貸出しを行うとともに、協働して清掃活動を実施し、河川環境の改善を図りました。

## ○河川環境の保全・管理

- ・河川機能の管理及び環境整備を図るため、堆積土砂の浚渫や除草等を実施しました。
- ・不法投棄の防止対策として、パトロールや看板の設置等を行いました。

## ○河川の整備

- ・洪水の防止や下流への負担軽減を図るため、河川整備を推進しました。

館野川（箱森町）

河川改修工事

樋ノ口町地内水路 ほか

排水路整備工事

## 個別施策 水とふれあう機会の創出

豊かな水辺が多く地域により様々な特性を有しており、その特性に応じて水辺での環境教育活動など、水とふれあう機会を創出するため、次の取り組みを推進しました。

### 【主な施策の実施状況】

## ○野外教室などの開催

- ・河川の水質を知るとともに、親子で川に親しみを持ってもらうため、「親子の水辺教室」を開催しました。

●開催日 平成27年6月13日（土）

参加者 14名

場 所 大平地域福祉センター

●開催日 平成27年8月7日（金）

平成27年8月8日（土）

参加者 53名

場 所 栃木市永野川緑地公園



永野川



## 基本的施策 ～ 生物とふれあおう ～

### 個別施策 生態系の保全

地域の環境に特有の生物多様性を形成しています。常に生態系への影響に配慮し、可能な限り生態系の破壊を低減し、生態系の保全に関する取り組みを進めました。

#### 【主な施策の実施状況】

##### ○地域固有の生態系の保全

ナガレコウホネ及びナガレミクリは栃木県レッドリストに掲載されている絶滅危惧種になります。川に生息する生態であり、これらの保全のためには川さらい等の際に注意が必要となるため、地域水利組合に協力を依頼しました。

##### 〔ナガエミクリ〕



栃木第3小学校付近（巴波川）

##### 〔ナガレコウホネ〕



栃木市城内町付近（巴波川）

##### ○ペットの適正飼育の指導・啓発

- ・犬や猫を正しく飼うためのマナー等について広報紙で啓発しました  
広報とちぎ班内回覧（5月、10月）広報とちぎ記事掲載（12月、3月）
- ・犬のフン禁止等の看板を作成し、犬のフン等に困っている希望者に配布しました。（15枚）

##### ○野生鳥獣の保護管理

- ・生態系の保全と人と自然環境の共生を図り、生活環境被害を防止するため有害鳥獣の捕獲を実施しました。

イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、カラス、ドバト、カルガモの捕獲

##### ○渡良瀬遊水地の保全と活用

- ・絶滅危惧植物保全のための外来植物除去作業

渡良瀬遊水地は絶滅危惧種を含む希少植物が多く生育する豊かな自然環境にありますが、外来種植物が多く見られるようになり、生態系を守るため、また守ることの必要性を広く周知するために、外来種植物の除去活動を行いました。

実施日	平成27年	5月17日（日）	参加人数	45名
	平成27年	7月12日（日）	参加人数	14名

・ヨシ焼きの実施

渡良瀬遊水地では、良質のヨシを育成するために枯れたヨシ、枯れ草を燃やすヨシ焼きを実施しています。このことにより春先多くの貴重植物などの芽吹き促進となっています。なお、ヨシ焼きは近隣の自治体と協力して実施しました。

実施日 平成28年3月26日（土）

焼却量 対象面積1,500ha中 約8割

**個別施策 生物とふれあう機会の創出**

普段の生活や自然環境の中での生き物への意識啓発を進め、生物とふれあう機会の創出に関する取り組みをしました。

**【主な施策の実施状況】**

**○ペットの適正飼育の指導・啓発**

・栃木市各地域、壬生町で実施していたしつけ方教室を発展させ、動物フェスティバルとして開催しました。

開催日	平成27年11月3日（火・祝）第2回〔栃木地区動物フェスティバル〕
参加者数	約3,000名
場所	栃木市永野川緑地公園
主催	栃木地区動物保護管理協議会
開催内容	しつけ方教室、ペットの健康相談、狂犬病予防周知活動など



## 基本的施策 ～ 土とふれあおう ～

### 個別施策 田畑の保全

本市の豊かな自然環境の一部であり、私たちの食料を生産するなどの欠かせない存在として、田畑の保全に取り組みました。

#### 【主な施策の実施状況】

##### ○田畑の保全

- ・ 認定農業者等、今後地域の中心となる経営体に農地を集積し、規模拡大を図るため、農地の貸し借り等、掘り起こし活動を実施し、農地の効率的な管理をするため集約化を推進しました。
- ・ 農業者個人での解決が困難な問題や集落の将来に対する意識を高め、地域農業の新たな担い手として期待される集落型経営体設立に向けた合意形成を促進するため、JA しもつけや栃木市農業再生協議会と連携し、協議会の開催、研修会及び座談会を開催し、チラシの配布等による啓発活動をしました。
- ・ 地域資源を活かした幅広い交流を通して、農林業や農山村に対する都市住民の多様な期待とニーズに積極的に応え、農山村地域の活性化を図る取り組みを支援するため、グリーンツーリズム事業を推進しました。



ふれあい農業体験      大平黒大豆オーナー制度

##### ○耕作放棄地解消対策

- ・ 高齢化や農業後継者がいない耕作放棄地の実態把握とその解消を促進するため、荒廃農地の発生・解消状況に関する調査、耕作放棄地再生利用対策事業を実施しました。

##### ○地産地消の推進

- ・ 地産地消を進めるため、市内の小中学校の学校給食に栃木市や栃木県の農畜産物を利用した「とち介ランチ」を提供しました。

## 【基本目標】 『エネルギー・資源を大切にすまち』

### 【環境指標】

項目	単位	基準値	現状値				目標値		進捗率	評価	所管課
		H24	H25	H26	H27	平成 29 (2017) 年度	平成 34 (2022) 年度				
		太陽光発電システム設備容量	kw	1,829(年間 (累計)	2,623 (4,452)	2,346 (6,798)	1,852 (8,650)	3,000			
太陽光発電設備を導入した市有施設数	施設	8	21	36	※② 35	30	40	116.6	★★★		
市有施設の電力、ガス等エネルギー使用量	※GJ	313,407	393,581	※① 454,532	493,992	297,737	297,737	▲ 39.7	★		
リサイクルされた資源物量	t	7,100	6,900	6,627	7,421	7,500	7,800	98.9	★★		

※GJ：ギガジュール・電気や灯油を使用した際のエネルギー使用量の単位

※① 岩舟町合併のため施設数や職員数の増加によりエネルギー使用量が増加。

※② 屋根の構造上の理由より、設置できなかった施設が1施設あったため、減となった。

## 基本的施策 ～ エネルギーを大切に使う ～

### 個別施策 再生可能エネルギーの活用

本市では電力の多くが県外で発電された電力の送電に頼っていますが、太陽光、太陽熱、水力、風力などの再生可能エネルギーを有効に活用し、エネルギーの地産・地消をめざし、取り組みを進めました。

### 【主な施策の実施状況】

#### ○太陽光発電設備の導入

- ・市有施設に太陽光発電施設を設置し、施設で使用する電力の一部として利用しています。

(13 施設)

設置箇所	導入年度	規模
藤岡第一中学校	平成13年度	10.00kw
国府公民館	平成15年度	5.00kw
とちぎ西部生きがいセンター	平成15年度	5.50kw

大平西小学校	平成18年度	20.00kw
岩舟中学校	平成21年度	10.08kw
渡良瀬の里	平成22年度	8.75kw
都賀中学校	平成22年度	30.00kw
栃木中央小学校	平成23年度	10.00kw
西方中学校	平成24年度	30.00kw
いわふね保育園	平成24年度	10.00kw
静和地区公民館	平成25年度	5.40kw
栃木市役所本庁舎	平成25年度	20.00kw
寺尾小学校	平成25年度	20.00kw

・屋根貸出事業

市有施設の屋根部分を民間に貸出し、太陽光発電を促進しました。(23施設)

設置箇所	導入年度	規模
栃木保健福祉センター	平成24年度	73.92kw
栃木中央小学校	平成24年度	95.54kw
旧栃木中央小学校	平成24年度	45.36kw
栃木西中学校	平成24年度	58.32kw
国府地区公民館	平成24年度	63.36kw
栃木図書館	平成24年度	58.32kw
大平図書館	平成24年度	58.32kw
藤岡第一中学校	平成24年度	75.6kw
合戦場小学校	平成24年度	58.32kw
都賀中学校	平成24年度	58.32kw
西方総合文化体育館	平成24年度	158.4kw
吹上小学校	平成25年度	76.5kw
栃木東中学校	平成25年度	193.8kw
栃木南中学校	平成25年度	110.16kw
皆川中学校	平成25年度	107.87kw
吹上中学校	平成25年度	48.2kw
寺尾中学校	平成25年度	91.8kw
赤津小学校	平成25年度	109.16kw
家中小学校	平成25年度	85.68kw
合戦場小学校	平成25年度	51.00kw
静和小学校	平成26年度	44.37kw
岩舟小学校	平成26年度	57.89kw
岩舟中学校	平成26年度	59.67kw

・住宅用太陽光発電システム設置費補助事業

個人住宅への太陽光発電システム設置に対し、設置費の一部を補助しました。

1kw 25,000円 (上限4Kw 100,000円)

平成27年度補助件数373件 補助総額 35,276,000円

○風力発電の設置

設置場所 栃木市役所本庁舎 (栃木市万町)

設置時期 平成26年1月31日



○電気自動車の導入及び自動車用充電器の設置

本市では、省エネルギーの推進のため電気自動車を活用しエネルギー啓発を推進しています。

また、栃木市役所新庁舎に普通充電器、道の駅「みかも」「にしかた」、蔵の街第一駐車場に急速充電器を設置し急速充電器の一般貸出を実施して電気自動車の普及促進をしました。



☆電気自動車用充電器の概要

・普通充電器 市役所本庁舎

・急速充電器 道の駅「にしかた」 1基 道の駅「みかも」 1基  
蔵の街第一駐車場 1基

利用可能日 道の駅営業日・営業時間内

対応車種 CHAdeMO 規格に対応した車種

CHAdeMO = Charge de move

意味：動く、進むためのチャージ、または充電中にお茶でもいかがという意味

電気自動車 (EV) やプラグインハイブリッドカー (PHV) の急速充電器。日本の主要な自動車会社によって設立された CHAdeMO 協議会により標準規格として策定され、コネクタ、充電方法、通信方法の統一を図っている。

## 個別施策 省エネルギーの推進

再生可能エネルギーの普及が拡大するなか、化石燃料を使用したエネルギーの使用を抑え、地球環境への負荷の少ない生活環境に代えていく必要があります。

省エネルギーの推進に関する取り組みを進めました。



緑のカーテン(厚生センター)

### 【主な施策の実施状況】

#### ○市役所内における節水や節電の促進

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、「栃木市役所エコオフィス推進実行計画」を策定し、庁舎を含む公共施設（出先機関、小中学校等を含む）における電気、水、燃料等の節約に努めました。
- ・水道の蛇口に節水コマを設置 ・昼休みの消灯を推進
- ・クールビズ、ウォームビズの実践 ・緑のカーテンの設置
- ・実行計画では、電気使用量、水道使用量、燃料使用量等を、平成 22 年度と比較して、平成 27 年度までに、5%以上削減することを目標としています。

#### ○「栃木市役所エコオフィス推進実行計画」

平成 26 年度を基準として温室効果ガス排出量を平成 32 年度までに 5%削減目標とする計画を平成 28 年度から 5 年間の実施計画として策定

#### ○市有施設における低炭素設備の導入促進

- ・市内小中学校 13 校において、照明使用時間が長い教室等の照明を LED 照明に交換

## 基本的施策 ～ 資源を大切にしよう ～

### 個別施策 資源の有効活用

本市では、河川や地下水、森林などの資源に恵まれていますが、資源は無限ではなく、資源の計画的な利用による有効活用、延命化が求められています。

自然由来の資源を大切に、有効に活用する取り組みを進めました。

#### 【主な施策の実施状況】

##### ○廃材の有効活用

- ・コンクリート再生材やアスファルト再生材を路盤材や舗装材として道路整備工事に活用しました。
- ・既設側溝ブロックや側溝蓋等を再利用しました。

##### ○グリーン購入の推進

- ・グリーン購入基本方針を策定し、環境負荷の少ない物品を選んで購入するグリーン調達を推進しました。

##### ○3R運動の推進

- ・本市では、全国的に実施している3R（リデュース：減らす・リユース：再利用する・リサイクル：再生する）運動を、環境基本計画の重点施策として推進しています。
- ・学校や自治会などへの出前講座を中心に、リデュース、リユース、リサイクルの周知及び実践の啓発活動を行いました。

##### ○とちぎクリーンプラザにおける熱エネルギーの活用

- ・とちぎクリーンプラザでは、ごみの焼却熱を場内の冷暖房に利用する他ボイラーで回収し、発電（最高2,500kw）して、場内の電力として使用しました。

また、余剰電力は販売しました。



年 度	発電量 (k w h)	売電量 (k w h)
平成25年度	15,687,480	2,583,096
平成26年度	15,451,070	2,560,965
平成27年度	16,055,770	3,473,383



【基本目標】 『安心して快適に暮らせるまち』

【環境指標】

項目	単位	基準値	現状値				目標値		進捗率	評価	所管課
		H24	H25	H26	H27	平成 29 (2017) 年度	平成 34 (2022) 年度				
野焼き等大気汚染関連苦情件数	件	37	85	55	55	19	0	65.5	★	環境課	
騒音・振動関連苦情件数	件	15	21	9	6	8	0	133.3	★★★★		
公共用水域の環境基準達成率	%	66	64	65	64	100	100	64.0	★★		
下水道等生活排水処理普及率	%	71.1	72.4	73.1	74.3	76	83.5	97.8	★★	下水道業務課	
文化財指定数	件	272	284	297	300	277	282	108.3	★★★★	文化課	
市民・事業者の美化活動参加数	人	28,000	43,000	37,250	51,930	44,800	67,200	115.9	★★★★	環境課	
市民一人当たり都市公園面積	m <sup>2</sup>	11.9	11.5	11.6	11.6	12.6	14.0	92.1	★★	公園緑地課	
文化財、史跡関連施設への入場者数	人	11,000	12,011	※① 27,599	※① 22,395	12,000	13,000	186.6	★★★★	文化課	
一般廃棄物最終処分量	t	3,235	4,076	3,496	3,580	2,997	2,756	▲16.3	★	環境課	
市民一人当たりごみ収集量(1日)	g	655	654	630	594	530	520	89.2	★★		
市民による集団回収量・件数	件	212	248	514	359	230	250	156.1	★★★★		
	ビョ kg	29,635	40,934	28,811	23,726	31,690	34,446	74.9	★★		
	カ kg	26,461	30,738	47,632	47,226	20,335	22,103	232.2	★★★★		
	紙 kg	1,145,522	1,287,493	1,614,260	1,549,755	1,267,620	1,377,848	122.3	★★★★		
その他 kg	795	4,543	2,670	3,295	792	861	416.0	★★★★			
ごみの不法投棄量	t	50	50	52	48	45	41	93.8	★★		

※①H26よりP27 5施設の入場者数合計 (H25までは下野国庁跡と栃木市郷土参考館のみ)

## 基本的施策 ～きれいな空気をまもろう～

### 個別施策 大気汚染・悪臭対策

良好な大気環境を守り、健康で安全・快適な暮らしを送るため、次の取り組みを推進しました。

#### 【主な施策の実施状況】

##### ○野外焼却禁止の指導等

- ・野外焼却の禁止について広報紙や市ホームページ等で周知するとともに、通報等に基づき、実際に野外焼却の現場に出向き、指導しました。

ただし農業、林業を営むためにやむを得ない焼却など、一部の例外行為がありますが、周囲の住宅環境に影響を及ぼさないことが必要です。

(例：農地管理・病虫害防除目的の稲わらの焼却・キャンプファイヤー・どんどん焼等)

##### ○エコドライブ等の奨励

- ・栃木市役所エコオフィス推進実行計画に基づき、ふんわりアクセルをはじめ、エコドライブを推奨しました。
- ・出前講座等において、二酸化炭素の発生抑制など地球温暖化防止の啓発をするとともに、エコドライブ10か条を進め、排気ガスの抑制を広く周知しました。

#### 「エコドライブ10か条」

1. ふんわりアクセル
2. 加減速の少ない運転
3. 早めのアクセルオフ
4. エアコンの使用は適切に
5. アイドリングストップ
6. 渋滞を避け余裕をもって出発
7. タイヤの空気圧から点検・整備
8. 不要な荷物はおろそう
9. 走行の妨げとなる駐車に注意
10. 自分の燃費は把握しよう

##### ○公共交通の利用促進

- ・ふれあいバスや蔵タクの利用を促進することにより、交通の利便性を向上させるとともに、自家用車依存型の生活の見直しをすすめる利用促進の周知を行ったことにより、温室効果ガス排出の削減に努めました。

平成27年度利用者数

ふれあいバス 218,791人 蔵タク 59,609人

##### ○光化学スモッグ対策

- ・光化学スモッグに関する情報提供を行うとともに、県光化学スモッグ対策要綱に基づき、光化学スモッグ注意報が発令された際に、小学校や病院等への連絡を行い、被害防止に努めました。

平成27年度光化学スモッグ注意報発令回数 3回

##### ○悪臭発生源等への指導

- ・通報等に基づき悪臭発生源等に出向き、指導しました。

##### ○事業者への指導等

- ・焼却施設を有する事業者などへの立ち入り調査等、県と連携し、指導しました。

# 基本的施策 ～きれいな水をまもろう～

## 個別施策 水質汚濁対策

水は私たちの暮らしにおいて大変重要な資源であり、きれいな水を守るため、次の取り組みを推進しました。

### 【主な施策の実施状況】

#### ○事業者等への指導

- ・県と連携し、工場や事業所への適切な水質管理等の指導等を行いました。



巴波川

#### ○水質汚濁防止の普及啓発

- ・出前講座等において、水質に関する情報提供等を行い、水問題に対する意識の向上を図りました。

#### ○公共下水道の整備及び水洗化の向上

- ・巴波川流域関連公共下水道事業及び渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）関連公共下水道事業として、栃木県の流域下水道事業とともに、建設及び維持管理を実施しました。

平成27年度末下水道整備等の状況

行政区域内人口	処理区域内人口	水洗化人口	下水道水洗化率
163,170人	93,024人	84,785人	91.1%

- ・職員による戸別訪問等の普及活動を行い、水洗化率の向上に努めました。

#### ○合併処理浄化槽設置の促進

- ・公共用水域の水質浄化対策として、合併処理浄化槽の設置促進のため補助金を交付しました。

平成27年度補助件数

5人槽	6～7人槽	8～10人槽	敷地内処理装置	計
132基	77基	8基	23基	240基

#### ○河川・地下水水質調査

- ・河川や地下水の水質を把握するため、水質調査を実施しました。

### 河川等水質調査

目的 河川における経年及び通年の水質の状況を把握すること。

調査項目 pH、BOD、SS、DO、大腸菌群数、全窒素、全リン、全クロム

栃木地域調査河川 15地点

瀬戸ヶ原用水、清水川、永野川、巴波川、荒川、空冷川、県庁堀川、市内普通河川

大平地域調査河川 9地点

永野川、巴波川、市内普通河川

藤岡地域調査河川 4 地点  
 赤津川、江川、蓮花川、旧渡良瀬川  
 都賀地域調査河川 2 地点  
 赤津郵便局南橋下用水、赤津川  
 西方地域調査河川 西方町元地内 1 地点  
 岩舟地域調査河川 三杉川 1 地点

#### 巴波川流入支川水質調査

目 的 巴波川に流入する支川における経年の水質を把握すること。  
 調査箇所 15 地点（巴波川上流、旧巴波川、荒川、旧赤津川、嘉右衛門橋上側溝、常盤橋上側溝、県庁掘北、県庁掘南、清水川、清水川分流、開明橋下側溝、新橋上側溝、杣冷川、県営城内住宅南東、愛宕橋南右岸）  
 調査項目 BOD、SS、pH、流量 等

#### 個別施策 地下水汚染対策

良質で豊かな地下水を資源として利用してきました。この地下水汚染の防止に努めるため次の取り組みを実施しました。

#### 【主な施策の実施状況】

##### ○地下水汚染に関する観測、監視実施

#### 地下水水質調査

平成26年度より栃木市全域を統一し、栃木市内全域を5Kmメッシュに区切り、1メッシュを4分割した区域を毎年1ヶ所ずつ調査、4年間で1メッシュ内を一順する。

調査箇所 16箇所  
 調査項目 28項目（カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ひ素、総水銀、アルキル水銀、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、塩化ビニルモノマー、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ほう素、ふっ素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、1,4-ジメチル）

栃木地域6箇所、大平地域3箇所、藤岡地域2箇所、都賀地域1箇所、西方地域2箇所、岩舟地域2箇所

##### ○農業集落排水事業

大平地域、藤岡地域、西方地域の3地域6地区で汚水処理し適正な維持管理を実施。  
 排水設備等の設置 平成27年度 37件

## 基本的施策 ～ 安全な土壌をまもろう～

### 個別施策 土壌汚染対策

土壌は、生態系や水質を保全する基盤となるものであり、健全な土壌環境を保全するため、次の取り組みを推進しました。

#### 【主な施策の実施状況】

##### ○土壌汚染に関する監視、指導の充実

- ・「栃木市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例」に基づき、災害防止の監視等を行うとともに、当該条例に基づき、特定事業の許可等を行いました。

特定事業の許可件数 平成27年度 7件

(※特定事業：500㎡以上の土砂等の埋立て等)

##### ○立ち入り検査等の実施

- ・県と連携し、事業所への立ち入り及び適切な指導等を行いました。

## 基本的施策 ～ 静かな環境をまもろう～

### 個別施策 騒音・振動対策

静かな生活環境を守るため、次の取り組みを推進しました。

#### 【主な施策の実施状況】

##### ○ 騒音・振動規制

- ・県から権限移譲により110箇所の道路区間を5年間に分けて自動車騒音常時監視業務を実施しました。平成27年度 11箇所
- ・騒音規制法及び生活環境保全等に関する条例に基づく特定施設の届出を受理しました。

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
騒音規制法に基づく届出	1	2	1	0	11
振動規制法に基づく届出	0	1	1	0	12
栃木県環境保全条例に基づく届出	1	2	0	1	1

##### ○立ち入り検査等の実施

- ・県と連携し、工場等への立ち入り検査及び適切な指導等を行いました。

##### ○市工事等における対策

- ・騒音、振動を抑える工法、施工順序、機械の選定などを踏まえた施工計画を立て、工事を施行しました。

## 基本的施策 ～ 快適なまちにしよう ～

### 個別施策 環境に配慮した良好な景観の形成

歴史的な街並みや四季が感じられる自然景観を維持していくための取り組みを進めます。

#### 【主な施策の実施状況】

##### ○栃木市景観計画及び栃木市景観条例の施行による景観まちづくりの推進

- ・良好な景観の形成と保全を図ることを目的に策定した景観計画により、本市の景観資源や景観構造を活かし、地域の特性に応じた景観まちづくりを推進した。
- ・景観を構成するうえで重要な要素となる色彩については、周辺の景観との調和を図る必要があることから、色彩に関する基準である色彩ガイドラインを策定するとともに、景観計画の更新を行った。
- ・景観条例に基づき一定規模を超える建築行為等を届出対象とし、良好な景観形成と保全の誘導を行った。

栃木市景観条例に基づく届出書等の受理件数（平成27年度）

項目		件数(件)
建築行為等の届出の受理 (景観法第16条第1項)	建築物	15
	工作物	30
	開発行為	3
計		48
建築行為等の変更届出の受理 (景観法第16条第2項)	建築物	2
	工作物	0
	開発行為	0
計		2
国・地方公共団体の建築行為等の 通知の受理 (景観法第16条第5項)	建築物	3
	工作物	1
	開発行為	0
計		4
総 計		54

##### ○違反広告物の除却活動

- ・良好な景観の形成や公衆に対する危害を防止することなどを目的に、栃木市違反広告物除却推進制度に関する要綱に基づき、違反広告物除却推進団体を認定し、活動支援を行った。

違反広告物除却推進団体の認定数 2団体

団体名	推進員数(人)	活動回数 (月1回を予定)	平成27年度分 認定年月日
栃木市とちぎ少年補導員会	46	10	平成27年3月31日
大平町あじさいグループ	11	6	平成27年3月31日

## ○放置自転車への対応

- ・栃木市自転車等の放置防止に関する条例に基づき、放置自転車禁止区域（栃木駅、新栃木駅、野州平川駅）における放置自転車の撤去を行いました。

平成27年度 撤去台数 235台

## 個別施策 緑地や公園の整備と緑化推進

緑地や公園は、市民の憩いの場としてまた景観を形成する役割や動植物の育成などの役割を担っています。緑地や公園の整備と緑化推進に関する取り組みを進めました。

### 【主な施策の実施状況】

## ○バリアフリー化の推進

- ・都市公園の機能更新と安全性の確保のため歩道や公園のバリアフリー化を推進しました。



永野川緑地公園

## ○計画的な公園の整備・保全

- ・緑の適正な保全及び緑化の推進を図るため、新市における緑の基本計画を策定し、計画的な公園の整備・保全を推進します。
- ・太平山県立自然公園、栃木市総合運動公園の整備を推進しました。  
平成27年度 1人当たりの都市公園面積 11.6㎡/人
- ・公園利用者が、安全・快適に公園を利用できるよう、施設の点検、補修等を行い事故防止と維持管理に努めました。

## ○イベントの開催

- ・市民参加によるみどりづくりを推進し、市民の緑化意識の高揚を図るため、家庭緑化用苗木配布会を実施しました。

実施日 平成27年10月25日（日）

配布数 アキグミ 250本

（岩舟地域）

実施日 平成27年10月25日（日）

配布数 アキグミ 70本



苗木配布

## ○アダプト制度の活用

- ・市民のボランティアにより行うアダプト制度（公共施設里親制度）により、公園の維持管理を行いました。

※アダプト制度：身近な公共空間である道路、河川、公園等において、市民の皆様によりボランティアにより清掃、除草等の美化活動を行っていただき、市がその活動を支援することにより、市民協働による維持管理を行う制度です。



## 個別施策 歴史的・文化的環境の保全

歴史的な景観を保全するとともに、文化的環境の保全に関する、次の取り組みを推進しました。

### 【主な施策の実施状況】

#### ○伝統的建造物群保存地区のまちづくりの推進

- ・嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区（嘉右衛門町伝建地区）及びその周辺について、嘉右衛門町伝建地区まちづくり計画に基づき地元関係者で組織した「嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会」とともに歴史的資源を活かしたまちづくり活動を実施しました。

会議名	開催日
総会	4月22日
役員会	7月1日
全体会議	11月4日

嘉右衛門町伝建地区のまちづくりの実施内容

期日	事業	場所
4月～ (毎月第一日曜日)	嘉右衛門町伝建地区～クリーン作戦（12回開催）	
5月～	嘉右衛門町伝建地区～花いっぱい運動	
5月31日	防災事業 消防訓練への参加	栃木第三小学校
7月5日	啓発事業 明治期の「栃木県の定め書き」高札復元	神明神社社務所
7月24日	嘉右衛門町伝建地区まちづくり通信4号発行	
9月9日	嘉右衛門町伝建地区まちづくり通信5号発行	
10月3日	「嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会」先進地視察研修	長野県東御市 海野宿伝建地区 長野県長野市 信州松代
11月6日	嘉右衛門町伝建地区まちづくり通信6号発行	
11月14日	「嘉右衛門町伝建地区」町並み案内	神明神社社務所
11月15日	「くらし創造会議」～とちぎの未来予想図発表会	市役所
11月17日	子ども例幣使行列	神明神社周辺
11月21日	第1回歴史勉強会	大町公民館
2月20日	第2回歴史勉強会	大町公民館

- ・嘉右衛門町伝建地区への来訪者の移動環境の充実を図るため、公共サインを設置しました。

内容
誘導サイン 6基
位置サイン 2基
案内サイン 1基

### ○伝統的建造物の保存・修理

- ・嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物を健全な状態で後世に残すために修理を行いました。
- 平成27年度の伝統的建造物の修理2棟



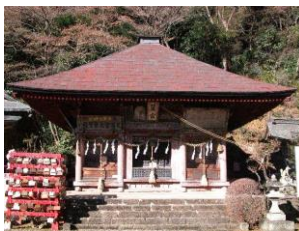
修理後の建造物

### ○文化財の指定及び保全

- ・太平山神社をはじめとした文化財の保全に努めました。

建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡  
古文書、歴史資料、史跡、天然記念物

指定文化財件数	300件
埋蔵文化財照会件数	1,160件
発掘届出件数	127件
現地立会件数	73件
確認調査	14件
発掘調査(学術目的)	2件



星宮神社社殿



神明宮拜殿

### ○文化財、史跡関連施設への入場

下野国庁跡資料館

- ・開館日数 254日 入館者数 1,669人

栃木市郷土参考館

- ・開館日数 307日 入館者数 4,874人

星野遺跡地層たんけん館・憩いの森

- ・開館日数 306日 入館者数 4,580人

藤岡歴史民俗資料館

- ・開館日数 304日 入館者数 1,677人

おおひら歴史民俗資料館・おおひら郷土資料館

- ・開館日数 303日 入館者数 9,585人



下野国庁跡

## 基本的施策 ～ ごみのないまちにしよう ～

### 個別施策 ごみの発生抑制、適正処理・処分

発生するごみを適正に処理・処分することは、大気汚染や地球温暖化、悪臭等の環境負荷の低減にもつながります。ごみの発生抑制に関する取り組みを進めました。

#### 【主な施策の実施状況】

##### ○3R運動の推進

- ・本計画の重点施策であるごみ3R運動に積極的に取り組み、ごみの発生抑制の啓発を推進しました。
- ・エコキャップ運動に賛同し、市内小中学校を中心にエコキャップの回収を行いました。

平成27年度回収量	重量	330kg
	個数	約132,000個
	ワクチン換算	165人分

(ペットボトルのキャップ800個でポリオワクチン1人分)

##### ○マイバック運動の推進

- ・マイバッグキャンペーンをレジ袋削減推進協議会の会員を中心に協議会参加店舗で実施し、レジ袋の削減を促進しました。(9店舗)  
イオン栃木店、オータニ西方店、コープ栃木店、カインズ大平モール店、ベニマル栃木祝町店、ヤオハンNEW大平店、アバンセ都賀店、プラッツおおひら、とりせん藤岡店
- ・レジ袋削減推進協議会の消費者団体が中心になりマイバッグの正しい使い方を周知し、平成24年度にレジ袋削減推進協議会で作成したマイバッグを1,000個配布しました。  
マイバッグ配布 (各100個・10店舗)  
店頭配布 イオン栃木店、オータニ西方店、コープ栃木店、とりせん藤岡店、アバンセ都賀店、カインズ大平モール店、ヨークベニマル祝町店、ヤオハン(アイム店、大平店)、ヤオハン岩舟店
- ・無料配布中止店舗に対するマイバッグキャンペーンの協力(600個)  
イオン栃木店(平成25年11月1日から無料配布中止)  
コープ栃木店(平成26年2月24日から無料配布中止)  
ベイシア大平モール店(平成26年3月1日から無料配布中止)
- ・事業者、協議会、市の3者でレジ袋削減についての推進協定を締結しました。  
締結式 平成26年1月30日(木) 栃木市役所第5会議室  
締結事業者 イオンリテール(株)、(株)オータニ、とちぎコープ生活協同組合、プラッツおおひら、(株)ベイシア、(株)ヤオハン

## ○生ごみ堆肥化の推進

- ・生ごみの堆肥化を推進するため、コンポスト容器設置費及び機械式生ごみ処理機設置費にかかる補助事業を実施しました。

コンポスト容器設置費補助件数（補助率 2/3 限度額 5,000円）

平成27年度 補助件数 22基

機械式生ごみ処理機設置費補助件数（補助率 1/2 限度額 10,000円）

平成27年度 補助件数 12基

堆肥化促進剤補助件数（補助率 2/3 限度額 5,000円）

平成27年度 補助件数 3基

- ・小学校に設置されたバイオ式生ごみ処理機により、給食の調理に伴う生ごみの減量化、堆肥化を推進しました。堆肥は、各小学校で活用するとともに、とちぎ市民環境まつりやとちぎ協働まつりにおいて、来場者に配布しました。

設置場所 栃木第三小学校、栃木第四小学校、栃木第五小学校、千塚小学校

平成27年度 生ごみ処理量 17,400kg

- ・野菜くず等を堆肥化して肥料として使い、燃えるごみの量を減らし、おいしい野菜を作ることを目的として健康野菜づくり講座を開催しました。

開催日及び参加者

5/25（月）18名、6/1（月）18名、6/8（月）18名

会場 大平地域福祉センター

## 個別施策 不法投棄の防止と監視体制の強化

清潔で美しい街並みを確保し、次世代に伝えていくためにも、不法投棄の防止と監視体制の強化に関する取り組みを進めました。

### 【主な施策の実施状況】

#### ○不法投棄監視員によるパトロール等

- ・環境課及び各総合支所生活環境課に不法投棄監視員計12名を配置し、平日不法投棄の監視や不法投棄物の回収を実施しました。
- ・農地においては、農業委員会において米の生産調整に係る現地調査時に、自己保全管理地における管理指導を行いました。
- ・市有地においても、不法投棄防止等のため、草刈等を実施しました。

#### ○栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の推進

- ・条例に基づき、きれいで住みよいまちづくりを推進するため、広報紙等を活用し情報提供を行うとともに、地域クリーン推進員を委嘱し、地域における環境美化の促進に取り組みました。

## ○啓発活動

- ・不法投棄禁止の看板を作成、掲示し、地域における環境美化の啓発を行いました。
- ・クリーン推進員等と協働し、環境美化への取り組みを支援、推進しました。

## ○不法投棄の防止

- ・不法投棄監視員によるパトロールを実施するとともに、不法投棄物の回収を行いました。
- ・不法投棄監視カメラを市内 10 か所に計 20 台設置し、不法投棄未然防止に対する取り組みを進めました。

## 個別施策 環境マナー意識の向上

良好で快適な自然環境、生活環境とまちの美観を守るため、環境マナー意識の向上に関する取り組みを進めました。

### 【主な施策の実施状況】

地域クリーン推進員を各地域で委嘱し、地域のクリーン作戦（ごみ拾い、清掃活動）を住民と協同で実施しました。また、協働まつりにおいて花の種を配布し美化活動の啓発をしました。

## ○分別方法や回収方法等の周知徹底

- ・ごみと資源の収集日カレンダーや分け方・出し方、分別早見表を全世帯に配布し、周知徹底しました。また、広報紙等に分別の方法や処理の方法及び、野外焼却の禁止など適正処理に関する内容を掲載しました。
- ・地域クリーン推進員等の協力を得ながらごみ集積所の適切な設置及び管理を促進しました。
- ・もやすごみの状況把握及び減量化対策の参考とするため、「もやすごみ」の組成分析を行いました。

分析結果（平成 27 年調査）

①	リサイクルできる紙類	13%
②	リサイクルできない紙類	6%
③	生ごみ	53%
④	ビニール・プラスチック類	19%
⑤	その他	9%

## 基本的施策 ～ 安心な暮らしをつくろう～

### 個別施策 放射能汚染対策

平成23年3月11日の東日本大震災が要因となり発生した福島第1原発事故により関東・東北地方をはじめとし広範囲の地域が放射能に汚染されました。

放射性物質による健康被害を防止するため、健康影響や現状の放射性濃度を把握し必要な取り組みを進めました。

#### 【主な施策の実施状況】

○空間放射線測定の実施（本庁舎、各総合支所、市内小中学校、保育園）

○放射線測定器の貸出（各家庭での放射線量測定。）



測定器貸出件数

地域	H27
栃木	11
大平	4
藤岡	0
都賀	1
西方	0
岩舟	0

- ・平成27年度も基準値より下回っています。放射線測定詳細結果はホームページへ (<http://www.city.tochigi.lg.jp/>)
- ・「栃木市における放射線等に関する当面の基本方針」に基づき、放射性物質対策に取り組みました。
- ・除染マニュアルを策定し市民に配布をしました。

【基本目標】 『みんなが参加し行動するまち』

【環境指標】

項目	単位	基準値	現状値				目標値		進捗率	評価	所管課
		H24	H25	H26	H27	平成 29 (2017) 年度	平成 34 (2022) 年度				
環境問題啓発 イベント数	件	3	6	16	9	5	7	180.0	★ ★ ★	環境課	
環境学習講座 参加者数	人	439	341	808	671	500	600	134.2	★ ★ ★		
市有施設温室 効果ガス※排 出量	t-CO <sub>2</sub>	12,950	18,861	※① 24,898	21,166	12,173	11,526	▲42.5	★		

※① 岩舟町合併のため施設数や職員数の増加によりエネルギー使用量が増加。

**基本的施策 ～ 一人ひとりが環境をまもる活動に取り組もう ～**

**個別施策 環境保全意識の向上**

複雑な環境問題についての理解を含め、環境を保全していくための意識の向上と正しい知識の習得により、環境に配慮した行動を促進してまいりました。

【主な施策の実施状況】

○市イベント協力活動

- ・アグリフェスタ、渡良瀬フェスティバル、岩舟健康福祉・環境まつり

○啓発活動

- ・環境に関する情報を広報紙やホームページに掲載することにより、環境に関する意識の向上を図りました。
- ・出前講座を開催し、環境の状況や身近にできる環境対策の説明等を行うことにより、環境保全意識の向上を図りました。

**個別施策 協働による環境保全活動の推進**

市民、事業者、市が連携、協力して環境保全のための協働による取り組みを積極的に実施しました。

【主な施策の実施状況】

## ○環境美化活動

- ・市民、事業者、市が協働して、ごみのない美しいまちづくりを推進するため、環境美化キャンペーンを実施しました。

実施日 平成27年5月31日(日)

場所 岩舟文化会館周辺

参加者 約130人

実施日 平成27年5月17日(日)

平成27年10月18日(日)

場所 栃木地域

参加者 約14,000人



実施日 平成27年5月29日(日)

場所 大平地域内各地

参加者 約5,600人

実施日 平成27年5月31日(日)

場所 藤岡地域内各地

参加者 約4,900人

実施日 平成27年5月31日(日)

場所 都賀地域内各地

参加者 約1,900人

実施日 平成27年6月21日(日)・11月15日(日)

場所 西方地域内各地

参加者 約2,900人

実施日 平成27年5月31日(日)

場所 岩舟地域内各地

参加者 約4,500人

- ・地域における環境美化活動に対し、ごみ袋の提供やごみの回収等を行い、地域活動の支援を行いました。

## ○アダプト制度

- ・身近な公共施設である道路、河川、公園の維持管理などを市民のボランティアが中心となり、アダプト制度を活用し、市民協働による維持管理を実施しました。

活動団体 道路 19路線 19団体

河川 4河川 9団体

公園 31公園 37団体、5個人



## 基本的施策 ～ 環境を学び行動しよう ～

### 個別施策 環境教育・環境学習の推進

子どもから高齢者まですべての方が環境問題を知り、学び、自分たちが自分たちの環境を保全していくという意識を高め、自分たちにできる環境対策を実践してもらうため、次の取り組みを推進しました。

#### 【主な施策の実施状況】

##### ○環境出前講座の開催

- ・環境に関する知識や情報をより多くの方に知っていただき、環境保全に関する取り組みを実践してもらうため、自治会や学校等に出向き、環境に関する講座を開催しました。

実施回数	11回（延べ671人）
主な内容	地球温暖化防止対策について ごみの分別・リサイクルについて 水質について 廃油石けんづくりについて など



出前講座の様子

##### ○こどもエコクラブ

- ・子どもたちによる自主的な活動を推進するため、こどもエコクラブの登録及び活動支援を推進しました。（環境省主催）



### 個別施策 環境情報の共有化

#### 【主な施策の実施状況】

環境情報を収集し、市民や事業者からの情報も併せて整理保管し、共有化できる仕組みを作りました。

##### ○環境情報の提供

- ・広報紙を積極的に活用するとともに、ホームページにより情報提供を行いました。

### 個別施策 人材の育成

#### 【主な施策の実施状況】

環境保全活動を推進できる人材の育成に関する取り組みを進めました。

##### ○クリーン推進員への研修会開催

- ・環境問題に関して広く周知し、関心を持っていただき、自分たちにできることを実践していただくため、クリーン推進員総会の際に研修会を開催しました。

開催日 平成27年5月21日(木)  
場所 栃木市栃木文化会館  
小ホール  
参加者 約130名



地域クリーン推進員総会（栃木市栃木文化会館）

## 基本的施策 ～ 地域から地球環境問題に取り組もう～

### 個別施策 地球環境問題への意識の向上

日常における一つひとつの行動が環境負荷の少ないものになるよう、環境問題の解決に向けて取り組んでいきます。

#### 【主な施策の実施状況】

##### ○出前講座の実施

- ・環境問題にかかわる出前講座を各学校や公民館で実施しました。

### 個別施策 地球温暖化対策の推進

環境問題は、地球温暖化をはじめ地球規模で顕在化してきているため、身近な環境だけではなく地球環境問題についても意識を持ち、それらへの対策を実践していただくため、次の取り組みを推進しました。

#### 【主な施策の実施状況】

##### ○啓発事業の実施

- ・イベントや講座の開催等により、身近な環境問題から地球温暖化などの世界的な環境問題に関する意識の向上を図るため、とちぎ市民環境まつりを開催しました。
- ・広報紙等による情報提供を行うとともに、出前講座等を積極的に働きかけ、環境に関する知識や意識の向上に努めました。
- ・市民一人の小さな行動が地球温暖化対策への取り組みへの一歩となることが認識してもらうよう推進しました。

#### 【主な施策の実施状況】

##### ○地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく実行計画の策定と推進

- ・栃木市役所エコオフィス推進実行計画（実行計画）に基づき、各種施策を実施しました。
- ・実行計画においては、平成22年度と比較して平成27年度までに、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量や水・電気・燃料の使用量などを5%以上削減することを目標としています。

		平成 22 年度 基準値	平成 27 年度 現状値	平成 27 年度 目標値	基準比 (%)	目標比 (%)
温室効果ガス排出量	t-CO2	12,654	16,090	12,021	78.7	74.7
電気使用量	Kwh	26,375,231	27,623,497	25,056,469	95.5	90.7
燃料使用量	GJ	313,409	466,240	297,738	67.2	63.9
紙類使用量	千枚	30,555	32,285	29,027	94.7	89.9
水使用量	m <sup>3</sup>	466,155	496,614	442,847	93.9	89.2

- ・各課・室等にエコ推進員を置き、各課において実行計画の推進を図るとともに、各職員の環境意識の向上を図りました。
- ・各課、各学校のエコ推進員に地球温暖化についてなどのエコオフィス推進のための研修会を実施しました。
- ・基準値を平成 26 年度として、平成 28 年度～平成 32 年度まで温室効果ガス 5%削減目標としたエコオフィス推進実行計画を策定しました。

日 時 平成 28 年 1 月 27 日 (水)

場 所 西方総合文化体育館

参 加 88 名

